

京都経済短期大学 経営情報学科

今瀬政司ゼミナール 卒業論文集

2018年1月

ゼミ担当教員講評

京都経済短期大学准教授 今瀬 政司

今瀬ゼミのゼミ生たちは、「自治と協働による地域づくり」というテーマのもと、基礎知識・ノウハウの学習を踏まえて、各ゼミ生が独自プロジェクトを企画立案し、学外現場で調査研究や実践活動を行った。ゼミ期間は、2016年9月～2018年3月の1年半である。京都・大阪・富山等の地域の住民、行政、企業、自治会、NPOなど様々な人たちと交流・協力して、一緒に地域活性化に取り組んだ。ゼミ生たちは、地域社会に貢献するとともに、実社会で役立つ知識やノウハウを学習して、一人一人大きく成長した。

2017年1月19日、京都市西京区役所で全ゼミ生が7つの個人・チームに分かれて企画書を発表。同年7月10日、調査研究や実践活動の成果を中間卒業論文として提出しゼミ内発表。同年11月6日、最終卒業論文の初稿（各14,000文字）を提出しゼミ内発表。初稿提出後も、長い時間をかけて、今瀬からの個別面談サポートを受けながら、粘り強く推敲と再提出を何度も繰り返し行った。ゼミ生たちの卒業論文は日増しに優れたものになっていった。京都経済短期大学における同年12月21日の「ゼミ研究発表会」や2018年1月12日原稿提出の「学生論集」（同年3月発行予定）では代表論文を選定した。各ゼミ生たちの卒業論文はどれも優劣をつけがたいほどに優れたものになってきていたため、選定は苦渋の決断となった。

そして、2018年1月、全ゼミ生（7つの個人・チーム別）の卒業論文フルペーパーからなる「今瀬政司ゼミナール 卒業論文集」（本書）を発行した。塚田匠さん、日下部侑希さん、上谷依子さん、田口汐里さん、清水りかさん、和田葵さん、石倉恋さん、中嶋誠也さん、梅野貴斗さん、大森大暉さん、佐々木琢成さん、杉森正基さん、外山宇海さん、林龍也さんの力作である。

同年1月17日、「今瀬ゼミ西京区役所向け卒業論文報告会」を開催するとともに、西京区長に論文集を提出した。さらに、今瀬研究室ホームページにも論文集を掲載した（http://sicnpo.jp/imase-kyoto_econ/）。全ゼミ生たちの頑張った成果の卒業論文を一人でも多くの人に読んで頂き、今後とも地域活性化の一助になれば幸いである。